

2025 年度 東区薬剤師会総会 付議事項

日時：2025 年 5 月 21 日(水) 19：30 より
場所：東市民センター（なみきスクエア）
第一、二会議室

東区薬剤師会

総会次第

1. 開会
2. 来賓挨拶
3. 会長演述
4. 議長選出
5. 議事

(1) 報告

- 第 1 号 2024 年度会務報告
- 第 2 号 2024 年度事業報告

(2) 議案

- 第 1 号 2025 年度事業計画決定の件
- 第 2 号 2024 年度決算認定の件
- 第 3 号 2025 年度予算認定の件
- 第 4 号 役員改選の件
- 第 5 号 2026 年度会費および入会金決定の件

6. 閉会

(1) 報告

第 1 号 2024 年度会務報告

1. 一般会務関係事項

(1) 会員数

部会数 5 会員数 120 名 (2023 年 12 月末現在)

部会数 5 会員数 120 名 (2024 年 12 月末現在)

(2) 表彰関係

(敬称略)

学校薬剤師制度創設 70 周年記念事業文部科学大臣表彰・・・楠本 哲也先生

文部科学大臣表彰 (学校保健功労者)・・・馬場 正佳先生

福岡県薬事功労者知事表彰・・・竹野 将行先生

日本薬剤師会有功賞・・・江森 節子先生

(3) 長寿・還暦会員祝彰

(敬称略)

長寿会員 江森 節子先生

箕浦 愛子先生

還暦会員 三善 幸子

(4) 会員および家族に対するお祝い及び見舞金

(敬称略)

お祝い金 該当なし

会員死亡弔慰金 該当なし

お悔やみ 田村 重彰 (東区医師会)

第2号 2024年度事業報告

研修会

2024年度も感染症防止や会員の利便性もあり、昨年同様に Zoom 併用での研修会となった。計画していた研修会はおおむね開催することができ、東支部研修会は今年度で通算 102 回を迎えた。毎回参加者も 100 名を超え、医師会の先生に安心して処方箋を発行してもらえる環境づくりにもなった。支部研修会において今年度も会員限定ではあるが、現地参加者のみに付与されていた研修単位を Web 研修にも付与し、かかりつけ薬剤師の取得・更新に必要な事業となった。

地域活動

今年度は市民向け薬草観察ハイキングを今年も開催することができ、東区健康づくり月間行事、3 回の多職種連携研修会、モバイルファーマシー展示活動などが開催され、地域へ薬剤師の職能をアピールすることができた。特に今年度も、千早防災フェアや東区安全安心まちづくりイベントなどでモバイルファーマシーの見学、お薬相談、災害食の展示などを行い大変好評であった。

継続した重点事業

・組織強化

組織強化の一環として、例年行っている東区会員の懇親会を開催した。また、部会の強化を図るため、ご近所会員が交流し、部会の活性化、連携を目的とした部会ごとに行っている懇親会も再開した。

・外交

三師会新春の集いは、今年度は幹事としてアルカーサル・アヴィオにて開催することができ、三師会の先生方と親睦を図ることができた。東区災害関係会合にも参加し、災害時におけるさまざまな事案に、薬剤師視点で意見を述べ、存在をアピールし、多職種との連携強化を図っている。（災害関係会合は東区医師会主催で病院部会、地域の防災士、など地域で防災に係る人、職種が集まり、月 1 回会合を開いている。）多職種連携強化の為、東在宅ネットワークや基幹病院から発信される研修会などを会員に広く案内し、会員の参加を促した。

2024 年度活動報告

5 月 26 日	薬草観察会
6 月 4 日	予備代議員会
6 月 10 日	東区防災協議会
6 月 12 日	東区多職種連携企画委員会
6 月 15 日	市薬総会
6 月 17 日	東区健康づくり実行委員会総会
6 月 21 日	東区博多区研修会
6 月 23 日	県薬総会
6 月 24 日	市薬理事会
6 月 26 日	第 2 回役員会
6 月 27 日	東区病薬連携協議会
7 月 8 日	中小病院委員会研修会 WG
7 月 20 日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン
7 月 22 日	市薬理事会
7 月 24 日	東区多職種連携研修会
7 月 26 日	東区博多区勉強会
7 月 31 日	中小病院委員会研修会 藤井先生発表
8 月 6 日	支部長会
8 月 16 日	博多区東区研修会
8 月 19 日	東区災害会合
8 月 21 日	第 3 回東区役員会
8 月 24 日	東区懇親会
8 月 26 日	市薬理事会
8 月 30 日	健康応援薬局研修会
9 月 1 日	NO-D イベント
9 月 6 日	第 97 回東区研修会
9 月 8 日	市薬薬草観察会
9 月 2 2 日 2 3 日	日本薬剤師会学術大会
9 月 24 日	市薬理事会
9 月 25 日	健康応援薬局研修会（薬局）
9 月 27 日	博多区東区研修会
9 月 29 日	ソフトボール大会

10月7日	支部長会
10月9日	第4回東区役員会
10月11日	第98回東区研修会
10月12日	市民啓発研修会
10月13日・14日	九州山口薬学大会
10月18日	博多区東区研修会
10月18日	東区健康づくり月間行事
10月19日	福岡県薬剤師会薬と健康フェア
10月22日	日本薬学会ワーキング
10月23日	健康応援薬局研修会
10月27日	福岡県薬剤師会医療安全セミナー
10月28日	市薬理事会
11月2日	福岡市防災フェア（中止）
11月9日	東区安全安心まちづくりイベント
11月11日	東区災害関係会合
11月15日	市薬医療安全セミナー
11月17日	地区指導者研修会、千早校区自主防災会
11月29日	第99回東区研修会
11月25日	市薬理事会
12月14日	第5回役員会、在宅医療推進フォーラム
12月16日	東区災害関係会合
12月18日	若手薬剤師育成研修会
12月23日	市薬理事会
1月6日	市薬、県薬新年祝賀会
1月17日	東区三師会
1月19日	餅つき大会
1月20日	東区災害関係会合
1月25日	県薬薬薬連携セミナー（竹野・藤井講演、原口座長）
1月26日	県薬保険薬局セミナー
1月27日	市薬理事会
2月1日	学校薬剤師研究大会
2月3日	市薬支部長会
2月4日	第6回東区役員会
2月4日	東区役員会

2月5日	第100回東区研修会、第2回議事運営委員会
2月16日	福岡県薬剤師会学術大会
2月18日	市薬臨時総会
2月18－20日	東区飲料水検査
2月25日	市薬理事会
2月28日	第101回東区研修会
3月12日	第102回東区研修会
3月14日	東区学薬研修大会
3月17日	市薬理事会
3月19日	第3回 多職種連携企画委員会
3月29日	日本薬学会
4月7日	支部長会
4月20日	薬草ハイキング下見
4月21日	市薬理事会
4月27日	薬草ハイキング
5月13－15日	東区飲料水検査
5月14日	支部長会
5月21日	東区薬剤師会総会

～各委員会事業報告～

委 員 会 名	医療保険委員会
委 員 名	中村 証
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> ・医療保険委員会 場所 福岡市薬剤師会館 第1回 2024 年 5 月 29 日（水曜日） 令和 6 年診療報酬改定相談会について 第2回 2024 年 7 月 24 日（水曜日） 医療安全セミナー、保険薬局セミナーについて 第3回 2024 年 9 月 18 日（水曜日） 選定療養と福岡県おくすり適正使用推進事業について 第4回 2024 年 12 月 12 日（木曜日） 選定療養、広域病院との協議会について 第5回 2025 年 3 月 6 日（木曜日） 広域病院との協議会、令和 7 年度中間年改定について ・会員さんからの質問 ①R6 年改定の特別薬剤管理指導加算について ②特定薬剤管理指導加算 3 のロについて ③償還払いについて ④特定薬剤管理指導料 3（ロ）（供給困難）について ⑤外来服薬支援について ⑥地域支援体制加算の区分変更について <感想> 会員さんからの質問への回答を中心に活動しました。適切な情報を伝えることの難しさを痛感した 1 年でした。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	継続して会員さんへ有益な情報を提供できるように自己研鑽をします。また学会発表など新しいことへ積極的にチャレンジしていきたいです。

委 員 会 名	組織委員会
委 員 名	重富 誠
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> ・4月17日＝市薬会議室 ①ソフトボール大会詳細、②ラブアース日程決定、③地引網は支部からの援助について協議、④ゴルフコンペ、博多区のパーカー制作について報告。 ・5月29日＝市薬会議室 ①ラブアース詳細決定、②ソフトボール大会の会場決定、③地引網の参加費、詳細が決定 ・6月9日＝今泉周辺 ラブアース 実施 ・6月25日＝市薬会議室 ①ラブアース反省会、②ソフトボール大会詳細、③地引網詳細、④バッジ政策について ・7月30日＝市薬会議室 ①ソフトボール大会ルール決定、②地引網実施要領決定、③餅つき開催について、④学生会員、製菓会社見学について ・8月4日＝糸島 初音旅館 地引網 実施 ・8月21日＝市薬会議室 ①地引網反省会、②ソフトボール大会について、③餅つきについて、④懇親会、レクレーション、フットサルサークルについて ・9月30日＝雁ノ巣レクレーションセンター ソフトボール大会実施 ・10月22日＝市薬会議室 ①ソフトボール大会について、②餅つき詳細決定、③各支部三師会ゴルフコンペについて ・1月8日＝市薬会議室 ①餅つき開催要領決定、②次年度事業計画について ・1月19日＝アステム駐車場 餅つき大会実施 ・3月3日＝市薬会議室 ①餅つき反省会、②次年度事業計画について、③チラシの作成、④台湾研修について <感想>地引網、餅つきと新たなイベントを行って、普段参加しない会員さんが参加してくれたことは大いに評価できる。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	顔を合わす機会が多いほど仲良くなる＝単純接触効果を得るために、多くの会員さんが参加できるイベントを企画すること。 初参加の会員さんには積極的に声をかけていく。

委 員 会 名	学校薬剤師委員会
委 員 名	ディバナディ 綾子
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> 5 月 1 学期飲料水検査 1 校 残留塩素濃度 0 7 月 プール水質検査 6 月 11 日 教室内換気（二酸化炭素測定）検査研修会実施 7 月～9 月 ・二酸化炭素検査実施 東区（14 校）※今年度初 二酸化炭素濃度数値が意外に少なかった 換気等の管理ができていると確認できたことは有意義である ・有機化合物検査 104 校中 15 校が不適合となったため学校薬剤師は換気等の指導助言 10 月 研修会実施 2 月 3 学期飲料水検査 2 月 1 日 令和 6 年度学校薬剤師研究大会実施 こども病院土屋先生 学校に持参できる医薬品について講演 3 月 新学校薬剤師研修会実施 東区 新規 4 名 <感想> 2024 年度 新規事業で二酸化炭素濃度測定を実施 学校薬剤師も初めて検知管を使用する人も多数いるため研修会等を行った が 学校側と学校薬剤師へうまく伝えきれていない事もあり 研修会のあ り方などを考えることができた 25 年度 認定こども園 2 校 城浜高等学園 開校
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	まだ慣れていないこども園等のフォロー等もしっかりしていかなければなら ない

委 員 会 名	薬学教育委員会
委 員 名	松下 隼士、藤倉 幸恵
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	○薬学教育委員会会議・WG 参加 2024/5/8、7/29、9/12、9/19、3/25 薬学教育研修会 2024/12/17 ○2023 年度実務実習受け入れ状況 1 期-12 名 九州大学 4 名 国際医療 1 名 福岡大学 4 名 第一薬科 3 名 2 期-8 名 九州大学 4 名 福岡大学 4 名 3 期-4 名 九州大学 2 名 福岡大学 2 名 ・薬草観察会へ市民と一緒に参加あり（説明はなし） ・2 期で中断事例があり、3 期に別薬局で対応となった。 ・新型コロナなどの感染症による休みは発生していたが実習は問題なく終了していた。 ○早期体験学習は第一薬科、九州大学、福岡大学の実施あり。 これまで受入経験がない新規施設にも受入をしてもらった。 ○2024 年度ワークショップ オンライン開催 聖和堂 岩永さん、 さくら薬局和白東 片山さん アイン薬局九大南 藤村さん、ひまわり薬局本店 安武さん 現在、多くの薬局に協力を頂いています。しかし、負担の偏りがあるため新規施設を増やして分散して受入ができるようにしていきたい。
2025 年度 委員会活動に対する委員としての活動目標	○2025 年実務実習受け入れ予定 1 期-7 名 九州大学 2 名 国際医療 1 名 福岡大学 2 名 第一薬科 2 名 2 期-12 名 九州大学 5 名 国際医療 3 名 福岡大学 3 名 第一薬科 1 名 3 期-7 名 国際医療 1 名 福岡大学 4 名 第一薬科 2 名 ○2025 年度ワークショップ 3 名参加 クジラ薬局 松本さん、タカラ薬局箱崎南 川崎さん 大賀薬局 地下鉄馬出九大病院前店 高崎さん ○今後について ・東区薬草観察会や学校薬剤師など地域活動の体験をする。 ・新規の指導薬剤師や施設は評価方法などフォローを実施する。 ・6 年制薬剤師の認定者を増やすため取得を促していく。 ・カリキュラム改訂があり、実習内容の変化が見込まれる。

委 員 会 名	広報委員会
委 員 名	馬場 正延
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> ・ 広報委員会 2024 年 4 月 16 日 第 1 回広報委員会 2024 年 5 月 20 日 第 2 回広報委員会 2024 年 6 月 18 日 第 3 回広報委員会 2024 年 7 月 11 日 第 4 回広報委員会 2024 年 8 月 20 日 第 5 回広報委員会 2024 年 9 月 17 日 第 6 回広報委員会 2024 年 10 月 15 日 第 7 回広報委員会 2024 年 11 月 19 日 第 8 回広報委員会 2024 年 12 月 12 日 第 9 回広報委員会 2025 年 1 月 10 日 第 10 回広報委員会 2025 年 2 月 13 日 第 11 回広報委員会 2025 年 3 月 13 日 第 12 回広報委員会 ・ 取材 2024 年 5 月 23 日 東区薬剤師会総会 2024 年 5 月 26 日 東区薬草観察会 2024 年 6 月 15 日 福岡市薬剤師会総会 2024 年 9 月 1 日 No Drug, Know Drug 薬物乱用防止イベント ・ 広報委員会研修会 2025 年 2 月 20 日 19 : 30 ~ 21 : 00 (市薬会館 / Zoom 配信) 演題 : 「 いま知っておきたい腸内フローラの重要性 ~ 全身の健康とビフィズス菌 ~」 演者 : 森永乳業クリニコ株式会社 クリニカルマーケティング部 臨床学術グループ 下野 智弘 様 ・ 市薬ジャーナル東支部だより作成 2024 年度 春号、夏号、秋号、新春号 <感想> 今年度は広報委員会が研修会を開催するという初めての試みがあったほか、SNS による広報活動にも力を入れてきた。今後とも市薬および東支部の活動を内外にアピールしていきたい。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	市薬ジャーナル及びホームページを通じて、講演や勉強会などの東区の活動実績を発信する。

委 員 会 名	在宅・介護委員会
委 員 名	大平 悠介
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> ・ 東区いきいきセンター(地域包括支援センター)への訪問・電話 在宅訪問薬局一覧配布、及びケア会議への参加促進へのお願い ・ 5/8 東区 調剤報酬改定/介護報酬改定 相談会 ・ 6/13 東区小規模多機能事業者連絡会 介護する家族の会 より ふれあいサロンの講座依頼 松崎会館にて1時間講演 参加者11名 その後、参加者と一緒によかトレ実施 ・ 6/13 東区 RUN 伴 第1回会議 自己紹介、昨年度の紹介、今年度の予定 ・ 7/3 東区 RUN 伴 第2回会議 ルート決め ・ 7/24 令和6年度第1回東区多職種連携研修会 参加 「2024年度介護報酬改定における多職種連携の課題と対策」 演者：介護付き有料老人ホーム サンタマリア 施設長 松本 直人 氏 ・ 8/7 東区 RUN 伴 第3回会議 ・ 8/26 東区 RUN 伴 第4回会議 東区 ルート・通過時間等確定 ・ 9/11 圏域連携会議 GW 参加者46名 薬剤師2名 ・ 11/26 東区 Run 伴+ 本番 ・ 10/31 地域ケア個別会議 当薬局の居宅訪問実施患者さんの今後のケアについての検討 ・ 11/17 千早校区自主防災訓練 モバイルファーマシー出動 参加者183名 東区薬剤師会5名 ・ 12/22 認知症対応力向上研修会 ・ 1/17 東区三師会(薬剤師会担当) ・ 1/26 保険薬局セミナー+本田あきこを励ます会 ・ 東区役員会 5/16 6/26 8/21 10/9 12/14 2/4 ・ 在宅介護委員会 5/20、7/12、9/2、11/22、1/10、2/12 ・ 在宅介護研修会 7/29、10/4、3/28 <感想> 今年度、地域包括支援センターへの訪問等実施により、1件の圏域連携会議のお声かけを頂くケースがありました。今後、各圏域の地域包括支援センターと定期的に連絡をとり、より多く開催・および会員の皆様へ参加案内出来るようさらに連携を密にしたい。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	・ 在宅介護に関する質問等への対応 ・ 在宅介護研修会の開催（支部での初心者向け含む） ・ 地域包括支援センターへのアプローチ強化

委 員 会 名	学術研修委員会
委 員 名	汐待加織、藤井涼、白崎陽信
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> ●東区薬剤師会研修会 第 96 回 東区薬剤師会研修会 『 バイオシミラーの開発と評価 』 あゆみ製薬株式会社 メディカルアフェアーズ本部 学術部 西村 直樹様 『 患者満足度向上のための RA 治療 』 九州大学病院 整形外科 講師 赤崎 幸穂 先生 第 97 回東区薬剤師会研修会 「薬剤関連の口腔疾患の病態と治療 ～歯科が用いる薬剤の特徴と工夫について～」 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔顎顔面外科学分野 森山 雅文 先生 第 98 回東区薬剤師会研修会 「OTC 医薬品 48 薬効群の販売 ～何をそろえますか、何を目標にしますか～」 福岡市薬剤師会 元事務局長 福岡 英樹 先生 第 99 回東区薬剤師会研修会 「かかりつけ薬剤師としてできること」 大賀薬局 九大病院東門前店 汐待 加織 先生 「保険薬局における副作用のマネジメント」 さくら薬局和白店 松下 隼士 先生 「薬剤師による連携で地域のがん患者さんを支えるために」 九州大学病院 薬剤部 南 晴奈 先生 第 100 回東区薬剤師会研修会 「小児科領域の処方に関する考察」 福岡市東区医師会理事 ごんどう小児科クリニック 權藤 健二郎 先生 第 101 回東区薬剤師会研修会 「腎臓病コホート研究から考える 腎性貧血管理の課題と HIF-PH 阻害薬への期待」 福岡歯科大学 総合医学講座内科学分野 講師 田中 茂 先生 「CKD 治療の現状と課題 ～インドキシル硫酸に関する最新の知見～」 九州大学病院 腎疾患治療部 准教授 中野 敏昭 先生 第 102 回東区薬剤師会研修会 「PHR 管理アプリを通じた医療 DX 推進と薬剤師の役割」 沢井製薬株式会社 営業統括部 営業企画グループ 柿木 充史 様 「糖尿病診療 Up-To-Date～新しい治療薬、デバイス、医療連携～」 医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院 糖尿病・肥満症センター長 田尻 祐司 先生 ●博多区・東区薬剤師会研修会 【糖尿病治療薬の要点を整理する】（3 回シリーズ） 北里大学名誉教授 北里大学薬学部薬剤師地域連携講座特任教授 厚田 幸一郎 先生

	薬理・薬物動態に焦点をあてる（４回シリーズ） 【がんの病態と抗がん剤について】 九州大学 薬学研究院 臨床薬学部門 薬物動態学分野 教授 松永 直哉 先生 【薬学的視点から見た調剤後薬剤管理指導料 糖尿病および慢性心不全患者へのフォローアップ】 九州大学大学院 薬学研究院 薬物動態学分野 講師 濱村 賢吾 先生 【腎機能・肝機能を活用した処方監査の重要性】 九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野・臨床薬学教育センター 講師 川尻 雄大 先生 【向精神薬の薬物動態の基礎】 九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野・臨床薬学教育センター 講師 小林 大介 先生 <感想> 2024年度は、東区として博多区との合同研修会を新たに開催し、基礎薬学に焦点を当てた貴重な学びの場となりました。九州大学の先生を講師に迎え、薬理・薬物動態の講義を通じて、日頃の臨床研修とは異なる視点を深めることができました。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	2025 年度も、生涯学習を大切にしながら、さまざまな研修テーマに取り組んでまいります。第 100 回という節目を迎えた昨年度を振り返りつつ、現場で役立つ内容や新たな気づきにつながる学びの場を、皆さんと一緒につくっていききたいと思います。

委 員 会 名	薬局委員会
委 員 名	吉田 健
2024 年度 委員会活動の 報告と感想	<活動報告> 1) 福岡市薬剤師会活動 ○薬局委員会会議 第 1 回 2024 年 5 月 9 日 1. 5/19 接遇研修会について 2. クールシェアキャンペーンについて 3. 今年度の計画について 第 2 回 2024 年 6 月 17 日 1. 薬草観察会について 2. 健康食品買い上げ事業について 3. 健康応援薬局事業について 4. クールシェアふくおか進捗報告

	第3回2024年7月31日 1. 薬草観察会について 2. 健康応援薬局研修会について 3. 防災フェアについて 4. 九州山口薬学大会について 5. 災害対策研修会について 6. クールシェアふくおか進捗状況 第4回2024年8月29日 1. 薬草観察会について 2. 健康応援薬局研修会について 3. 防災フェアについて 4. 災害対策研修会について 5. クールシェアふくおか進捗状況 6. うつ病対応力向上研修会について 第5回2024年10月4日 1. 防災フェアについて 2. 九山ポスター発表について 3. 薬局管理者のための研修会について 4. 災害対策研修会について 5. うつ病対応力研修会 6. 来年度事業計画について 第6回2024年10月24日 1. 防災フェアについて 3. 防災フェアの反省と改善点について 第7回2025年2月10日 1. うつ病対応力向上研修会について 2. 県薬学術大会の発表について 3. 来期の事業計画の共有 4. 受動喫煙防止チラシについて 2) 東区薬剤師会活動 ○上記福岡市薬剤師会薬局委員会の情報を、東区薬剤師会で共有すべく情報提供を行った。 ○202411/17 千早防災訓練において、モバイルファーマシーの展示を含め、職能紹介を行った。 <感想> 様々な活動を行ったが、参加できない活動も多くあり、今年も心苦しい1年でした。
2025 年度 委員会活動に対する委員 としての活動目標	直接お手伝いできることが少ないのですが、陰ながらできる範囲での協力をしたいと考えています。

(2) 議案

第1号 2025年度 事業計画決定の件

<会長演述>

2024年度は、調剤報酬改定や医療DXの進展、選定療養制度の施行など、薬局・薬剤師を取り巻く制度環境が大きく動いた一年でした。当支部では、「在宅薬学総合体制加算」「医療DX推進体制整備加算」といった新たな制度への対応において、会員の皆さまの不安や疑問に寄り添うべく情報共有を通じた支援体制を構築してまいりました。

地域活動においては、今年度も薬草観察ハイキングを開催し、千早防災フェアや安全安心まちづくりイベントでは、モバイルファーマシーを活用した展示やお薬相談業務などを通じて、薬剤師の専門性を地域に広く発信することができました。また、三師会や東区災害関係会合への継続的な参加を通じて、災害時の連携や地域包括ケアへの貢献も強化されております。

組織活動事業においては、餅つき大会や地引網といったレクリエーション活動を再開し、会員同士のつながりを深めるとともに、初参加の若手会員の参画促進にもつながる成果が見られました。こうした「顔の見える関係づくり」は、平時だけでなく有事にも強い組織づくりの土台となると確信しています。

医療保険事業においては、診療報酬改定に伴うさまざまな質問対応や相談、特定薬剤管理指導加算、償還払い制度、地域支援体制加算の解釈といった難解な制度を会員向けにわかりやすく解説いたしました。

研修会事業においては、バイオシミラーやRA治療、OTC医薬品、口腔疾患など、実務に直結するテーマでの研修会を企画・開催し、会員の知識と専門性向上に大きく寄与し、また、日本薬学会のシンポジウムに演者としても東支部の研修会のあり方について議論いたしました。

実務実習事業においては、実務実習や早期体験学習に加え、地域活動への学生の参加を促進し、次世代薬剤師の育成に貢献しており、受入薬局の偏在に配慮した分散受入や指導薬剤師支援も進めております。

学校薬剤師事業においては、二酸化炭素濃度測定や有機化合物検査などの新たな対応を実施し、学校保健の安全性確保に薬剤師の専門的見地から関与する活動が定着しています。

在宅・介護事業においては、地域ケア会議への参画、地域包括支援センターとの連携、認知症対応力研修など、在宅医療の充実に向けた取り組みを進めております。

広報関係においては、SNSや市薬ジャーナルを活用した対外的な発信や広報支援も進められ、薬剤師の存在感を高める活動が続いております。

今後ますます、薬剤師は地域医療の一翼を担う中核的存在として、医療DXや多職種連携のなかで確かな専門性が求められています。当支部としても、会員の皆さまが自信を持って業務を遂行できるよう、支援と環境整備を進めてまいります。

2025 度事業計画（案）

「組織強化」、「行政、他団体等の横の連携の強化」、「在宅推進事業」、「薬剤師の職能アピール」、「研修事業」を中心に行ってきた。2025 年度も継続した事業を行いたい。そして事業を通してかかりつけ薬剤師の育成を図る。昨年同様 5 つの柱を中心に行っていく。

2025 年度の事業計画は以下のとおりとする。

1 組織強化

昨年同様、部会を中心とした組織強化事業、研修会など様々な行事で組織の重要性について語り、考える機会をつくっていく。緊急時（災害時）等、近隣薬局連携のためには部会の連携は重要であるとする。支部最大事業は組織強化この考えはかわらない。

2 行政、他団体等の横の連携の強化

ハード部分での強化という意味で行政を含めた横の連携の強化を進めていく。行政、医師会、歯科医師会、地域包括ケア推進にも不可欠な介護、福祉、法曹界警察を含めた団体とも連携に力を入れて行く。

医師会主導の災害関係会議に引き続き参加し、災害時の薬剤師の役割をアピールし連携を強化する。また、千早防災フェアなど災害等のイベント時は引き続きモバイルファーマシーを活用していく。

3 在宅推進事業

市薬在宅委員会と協同し研修会開始など会員のスキルアップを図る。また東在宅ケアネットワークと協同し、多職種連携により強化した事業などを開催していく。患者のファーストアクセスとして、「地域には薬剤師が必要である」という認識を作っていく。

4 薬剤師の職能アピール

春の薬草観察会、秋の健康フェスティバルは薬剤師として職能をアピールできる場であり、今年度は開催する。多職種連携を通して薬剤師の職能、薬局の機能について周知していく。

5 研修事業

定期研修会は昨年度で 102 回を迎える。今年度も定期研修会以外にも他地区との合同研修会や、薬局連携研修会など必要に応じた研修会を開催していく、会員の知識向上に寄与する。また、Web 研修会を積極的に取り入れ、現地受講とのハイブリット開催や、Web 研修会での研修単位取得ができるようにし、より多くの会員が研修会に参加できる環境作りを行う。

研修会の内容を精査し、医薬品や病態に関する研修会ではなく、医療安全など薬局事業に係る研修会を委員会コラボで協力して検討する。

第 2 号 2024 年度 決算認定の件

令和6年度 東区薬剤師会の会計報告

東区薬剤師会収入							
科 目	東支部	東区	合算	東支部	東区	報告	備 考
会費収入		1,190,000	1,190,000		1,250,000	1,250,000	区薬剤師会会費(会員数:119)前年度分70000円含む、
入会金		300,000	300,000		400,000	400,000	区薬剤師会入会金 ※100,000円×4件
懇親会参加費		100,000	100,000		57,000	57,000	・東区懇親会参加費
雑収入		50,000	50,000	673	140,906	141,579	【区】利息(906円)懇親会お祝い・賞金【支部】利息(673円)
市薬会計預り金	3,258,120		3,258,120	2,460,265	0	2,460,265	支部事業費+学業研修 ※余剰金精算 (2662500-205235円)
補助金		30,000	30,000		0		県薬健康フェア
補助金		30,000	30,000	50,000	0	50,000	薬草ハイキング補助金
					0	0	
					0	0	
繰越金		300,000	300,000			0	
収入合計	3,258,120	2,000,000	5,258,120	2,510,938	1,847,906	4,358,844	

東区薬剤師会支出							
科目	東支部	東区	合算	東支部	東区	報告	備 考
会議費	850,000	35,000	885,000	656,300	30,000	686,300	
通信費	35,000	35,000	70,000	35,511	8,940	44,451	【区】年会費請求用・【支部】現金書留
慶弔費	0	60,000	60,000	32,000		32,000	田村先生慶弔費
研修費	600,000	250,000	850,000	622,795	10,336	633,131	東区定期研修会・博多区東区研修会 薬業連携研修会
福利厚生	800,000	1,000,000	1,800,000	451,500	1,002,028	1,453,528	【区】懇親会費品・部会懇親会・薬草同好会活動費 【支部】懇親会10000円×41名
役員活動費	0	550,000	550,000		543,000	543,000	
雑費	50,000	20,000	70,000	1,210	18,343	19,553	【区】年会費振込手数料 16842円
渉外費	0	50,000	50,000			0	
地域保健向上費	898,140	0	898,140	710,532	0	710,532	【支部】薬草観察会118395円 三師会382000円
学業研修費	0		0		264,000	264,000	学校薬剤師研修会 講師謝礼・講師交通費・役員交通費・会場費
新聞図書費	20,000	0	20,000	0		0	
保険料	4,980		4,980	1,090	0	1,090	
支出合計	3,258,120	2,000,000	5,258,120	2,510,938	1,876,647	4,387,585	

収入 4,358,844 - 支出 4,387,585 = -28,741

貸 借 対 照 表

福岡市東区薬剤師会
令和7年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	11,064,809		
現金	200,931	負債合計	0
普通預金	960,468	資本の部	
ゆうちょ銀行	9,903,410	【剰余金】	
繰越金		前期収支差額	11,093,550
		当期未処理損失	28,741
		(うち当期損失)	28,741
		資本合計	11,064,809
資産合計	11,064,809	負債資本合計	11,064,809

損 益 計 算 書

福岡市東区薬剤師会
自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:円)

科目	金額	
一般歳入		
会費・補助		
会費	1,250,000	
福岡市薬補助	2,460,265	3,710,265
入会金	400,000	400,000
その他	50,000	50,000
繰越金		
総合計		4,160,265
歳出		4,387,585
営業損失		227,320
特別歳入		
雑収入	198,579	198,579
経常損損失		28,741
税引き前当期損失		28,741
当期損失		28,741
当期未処理損失		28,741

監査報告書

歳出内訳一覧

福岡市東区薬剤師会

(単位:円)

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

科 目	金 額
会議費	686,300
慶弔費	32,000
研修費(学校薬剤師含む)	633,131
地域保健向上費(渉外費を含む)	710,532
通信及び機器使用料(ZOOM参加)	44,451
福利厚生費	1,453,528
役員活動費	543,000
雑費(支払手数料含む)	19,553
学業研修費	264,000
保険料	1,090
合計	4,387,585

令和 7 年 4 月 30 日

帳簿・現金・領収書等に相違ありませんでした。

監事 馬場 正佳

監事 中野達也

第3号 2025年度 予算認定の件

令和7年度 東区(支部含む)会計: 予算

東区薬剤師会収入					東区薬剤師会支出				
科 目	東支部	東区	合 算	備 考	科 目	東支部	東区	合 算	備 考
会費収入		1,200,000	1,200,000	区薬剤師会会費(会員数:120) @10000円	会議費	700,000	40,000	740,000	・支部会議全般・監査会 ・総会
入会金		300,000	300,000	区薬剤師会入会金 @100,000円	通信費	50,000	20,000	70,000	・送料・ZOOM会議交通費 等
懇親会参加費		100,000	100,000	・懇親会参加費	慶弔費	50,000	20,000	70,000	・祝儀 ・香典 ・生花 等
雑収入		150,000	150,000	・総会時祝儀 ・利息 ・(学校薬剤師研修会)等	研修費	700,000	50,000	750,000	・研修会(講師料・交通費 等) ・【区】学術大会派遣
市薬会計預り金	2,700,000		2,700,000	支部事業費(13500円×120薬局+10000円×B会員80名+定額1000000円)			250,000	250,000	【区】学校薬剤師研修会
補助金		30,000	30,000	県薬健康フェア補助金	福利厚生	500,000	1,100,000	1,600,000	・懇親会 ・部会懇親会 ・懇親会景品代(200,000円) ・薬草同好会活動費・ソフトボール 等
補助金	50,000		50,000	薬草ハイキング補助金	役員活動費	0	550,000	550,000	
					雑費	30,000	20,000	50,000	・手数料(年会費振込手数料 含) ・事務消耗品
					渉外費	0	30,000	30,000	・三師会等他団体会議 ・行政等の会議
					地域保健向上費	700,000	0	700,000	・三師会 ・防災フェア ・街づくりイベント ・健康フェア 等
繰越金		300,000	300,000		新聞図書費	15,000	0	15,000	書籍購入費
					保険料	5,000	0	5,000	保険
収入合計	2,750,000	2,080,000	4,830,000		支出合計	2,750,000	2,080,000	4,830,000	

第 4 号 役員改選の件

会長候補者 竹野 将行
監事候補者 中野 達也
馬場 正佳 (2025.4.21 期日までの届出 敬称略)

第 5 号 2026 年度会費および入会金決定の件

東区薬剤師会入会金および会費規程

1. (入会金及び年会費の額)

入会金	正会員 A および賛助会員 A	100,000 円
年会費	正会員 A および賛助会員 A	10,000 円

2. (納期及び徴収)

- 1) 入会金は、一般社団法人福岡市薬剤師会入会手続き時に、同時に納入する。
- 2) 年会費は、前条の会費を本会会長の指定する期日までに、本会に納入する。

3. (途中退会)

途中退会の場合、既納の年会費は返金しない。又、退会時に未納の会費がある場合は、清算して退会しなければならない。

4. (途中入会)

途中入会の場合、半期末満であれば全額 半期を超えての入会の場合は半額とする (福岡市薬剤師会規約に準ずる)